

<< トビタテ! 留学 JAPAN-高校生コース >>

アカデミック(ショート・ロング)

アカデミック・ショートおよびロングの条件を満たすプログラムをご案内しています。掲載の渡航先や学校以外でもプラン作成が可能です。まずはお気軽にご相談ください。



◆分野と内容について *トビタテ! 留学 JAPAN-高校生コース HP より

分野		活動内容	留学期間
アカデミック	ショート	海外の高等学校や大学等の教育機関で外国語を用いて様々な科目を学修したり、教育プログラムに参加するもの。	14~106 日間
	ロング	海外の高等学校等に長期間通学し、外国語を用いて様々な科目を学修するもの。	107~365 日間

◆トビタテ! 留学 JAPAN-高校生コースの詳細は、専用ウェブサイトでご確認ください。

<http://www.tobitate.mext.go.jp/hs/>

プログラム1. (ショート) ※2校ともロングのプランも可能!

渡航先国・都市	ニュージーランド・ウェリントン郊外アッパーハット ウェリントン中心部から車で15~20分ほど北にあるエリアです。
就学校について	2校をご紹介します! Heretaunga College では、留学生の英語力に応じて限定的にバディ(留生をお世話する生徒)をつけています。Upper Hutt College は、短期間の場合バディを必ずつけて、バディと一緒に同じ科目を学びます。
	<p>Heretaunga College</p> <p>ウェリントン郊外アッパーハットにある、公立の共学セカンダリースクールです。生徒数は約700人で、ほぼニュージーランドの地元の中学・高校生が通う学校で留学生は少な目ですが、留学生用英語クラス(ESL)も提供しており、充実したサポートが魅力です。ゴルフや乗馬、ホスピタリティやツーリズム系の科目もあります(英語力により履修できる科目は異なります)。入学時期や期間の設定には柔軟性があるので、短期間でも現地高校で学ぶ体験ができます。ホームステイ先は学校から近いファミリーも多く、スクールバスや徒歩通学できることもあります。</p> 
	<p>Upper Hutt College</p>  <p>同じくウェリントン郊外アッパーハットにある共学の公立セカンダリースクールです。生徒数は約1,100人。数学や社会などの一般科目のほか、メディアスタディーズ、ビジュアルアート、家具製作など様々なクラスを提供しています。校内にはマオリの伝統的な集会場があり、マオリ文化を学ぶ機会が多く設けられています。また、マオリ語を選択科目として履修することも可能。留学生のための英語クラスも充実しています。また、こちらの高校はフェンシング、ゴルフなどスポーツにおいても優秀な成績を修めています。滞在は、ニュージーランド人ファミリー宅でのホームステイです。</p>
プログラム期間 (2019年)	2週間~3ヶ月(1学期間) / 学期内に入学が可能です。 7月22日~9月27日(3学期目) または 10月14日~12月6日(4学期目) ※上記スケジュールは暫定です。学校により開始日・終了日がずれる場合があります。 ※4学期の後半はテスト期間の為、1学期間留学は3学期目をおすすめします。

<p>プログラム概要</p>	<p>現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。多彩なコース、クラスが提供されていますので、アドバイザーと相談し英語力と目的、興味にあったクラスに登録、受講します。</p> <p>※留学期間が短期の場合は、受講クラスを学校側から指定されることがあります。</p> <p>【クラス例】 English・Math・Science・Social Studies・Physical Education・Visual Art・Maori Performing Arts・Music・Drama・Hospitality・Journalism and Media 等</p> <p>【滞在方法】 ニュージーランド人ファミリー宅でホームステイ（一人部屋・3食付） 通学は、バス利用、徒歩などホストファミリー宅の所在地により異なります。一部エリアではスクールバスの利用が可能です。</p> <p>【現地サポート】 IEN 提携現地日本人スタッフが滞在中サポートします。初めての留学も安心です。</p>											
<p>制服について</p>	<p>就学期間により、学校からレンタルする、または日本の着用している高校の制服を持参する場合があります。一部、購入が必要なアイテムもあります。</p>											
<p>渡航関連</p>	<p>*3ヶ月までの就学は、学生ビザ不要です。</p> <p>*飛行機について、日本からウェリントンへの直行便はありませんので、他国・他都市を経由します。オークランド（ニュージーランド）、シドニー（オーストラリア）乗継ぎが便利です。</p>											
<p>プログラム費用</p> <p>※各校の2019年料金は資料作成時点で未発表の為、今後変更になる可能性があります。</p> <p>※2018年9月1日現在の当社レート適用 NZ\$1=80円</p> <p>※レート変動によりプログラム費用が変わります。お見積作成をご依頼ください。</p> <p>※\$=ニュージーランドドル</p>	<p>ユースサポート費：2週間¥20,000 4週間¥32,000 1学期間（10週程度）¥80,000</p> <p>外国送金手数料：¥7,000</p> <p>◆Heretaunga College 2週間：NZ\$2,400 4週間：NZ\$4,000 1学期間：NZ\$9,300</p> <p>◆Upper Hutt College 2週間：NZ\$2,900 4週間：NZ\$4,550 1学期間：NZ\$10,150</p> <p>【ユースサポート費&プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&オリエンテーション実施、入学金、授業料、ホームステイ手配、ホームステイ費用、空港送迎（往復）、IEN 提携日本人スタッフによる現地到着後オリエンテーション&滞在中サポート</p> <p>【含まれないもの/別途必要になるもの】 飛行機代（往復）、留学生保険、お小遣いなど</p> <p>【見積例】 Heretaunga College・4週間（29日間）の場合</p> <table border="0"> <tr> <td>ユースサポート費</td> <td>¥32,000</td> <td rowspan="5">} 約¥565,000 ※トビタテ奨学金（基満）△40万円</td> </tr> <tr> <td>外国送金手数料</td> <td>¥7,000</td> </tr> <tr> <td>プログラム費用</td> <td>NZ\$4,000（約¥320,000）</td> </tr> <tr> <td>飛行機代（往復の目安）</td> <td>¥190,000</td> </tr> <tr> <td>留学生保険（目安）</td> <td>¥16,000</td> </tr> </table>	ユースサポート費	¥32,000	} 約¥565,000 ※トビタテ奨学金（基満）△40万円	外国送金手数料	¥7,000	プログラム費用	NZ\$4,000（約¥320,000）	飛行機代（往復の目安）	¥190,000	留学生保険（目安）	¥16,000
ユースサポート費	¥32,000	} 約¥565,000 ※トビタテ奨学金（基満）△40万円										
外国送金手数料	¥7,000											
プログラム費用	NZ\$4,000（約¥320,000）											
飛行機代（往復の目安）	¥190,000											
留学生保険（目安）	¥16,000											




プログラム2. (ショート&ロング)

渡航先国・都市	ニュージーランド・クィーンズタウン 南島にあるリゾートタウン。自然が豊かで美しいエリアです。
就学校	Wakatipu High School 共学の公立校です。ドイツ、タイ、中国、韓国、ブラジルなど留学生 50 名を含む全校生徒 1000 名程度、9 年生～13 年生が学んでいます。日本人生徒は年間数名です。クィーンズタウンで唯一の高校で、小さなコミュニティのため、生徒と学校の距離が近くアットホームな雰囲気です。2018 年春に新しい校舎に移ります。
プログラム期間 (2019 年)	4 週間・1 学期間・1 学年間 ※3 学期 (2019 年 7 月 22 日～9 月 27 日) ～4 学期 (2019 年 10 月 14 日～12 月 6 日) で入学日を設定します。 ※4 週間就学は、3 学期目内 (7 月 23 日～9 月 28 日) の入学をおすすめしています。 ※1 学期間または 1 学年間就学は、学期ごとの入学が可能です。1 学期間の場合、4 学期目はテストが多いため 3 学期か 2019 年 1 学期の入学をおすすめします。
プログラム概要	現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。多彩なコース、クラスが提供されており、アルペンスキーの特別クラスもありスポーツにも力を入れています。留学生用の英語クラス (ESOL) は 5 段階のレベルに分かれ、1 日 2 時間までなので、一般科目と合わせて学ぶことができます。 ※留学期間が短期の場合は、受講クラスを学校側から指定されることがあります。 【クラス例】 English・Math・Science・Social Studies・Physical Education・Visual Art・History・Music・Drama・Business Studies・Maori 等 【滞在方法】 ニュージーランド人ファミリー宅でホームステイ (一人部屋・3 食付) 徒歩通学可能なエリアに住むホストファミリーが多いですが、エリアによりバス通学となります。 【現地サポート】 Wakatipu High School の留学生担当スタッフがサポートします。英語対応となりますが、必要時には通訳を手配することができます。
制服について	就学期間により、学校からレンタルする、または日本の着用している高校の制服を持参する場合があります。一部、購入が必要なアイテムもあります。
渡航関連	3 ヶ月までの就学は、学生ビザ不要です。日本からクィーンズタウンまでの直行便はありませんが、乗継は簡単で出発前に詳しくご説明しています。
プログラム費用 (2019 年)	ユースサポート費：4 週間 ¥ 32,000 1 学期間 (10 週程度) ¥ 80,000 1 学年間 ¥ 270,000 (¥370,000 トピタテ採用者スカラーシップ適用) 外国送金手数料：¥ 7,000 4 週間：NZ\$ 5,250 1 学期間：NZ\$ 11,895 1 学年間：NZ\$ 33,120 【ユースサポート費&プログラム費用に含まれるもの】 現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&オリエンテーション実施、入学金、授業料、ホームステイ手配、ホームステイ費用、空港送迎 (往復)、現地サポート、学生ビザ申請サポート (1 学年間の場合) 【含まれないもの/別途必要になるもの】 飛行機代 (往復)、学生ビザ申請関連 (該当する場合)、留学生保険、お小遣いなど 【見積例】 4 週間 (29 日間) の場合 ユースサポート費 ¥ 32,000 外国送金手数料 ¥ 7,000 プログラム費用 NZ\$ 5,250 (約 ¥ 420,000) 飛行機代 (往復の目安) ¥ 190,000 留学生保険 (目安) ¥ 16,000 約 ¥ 665,000 ※トピタテ奨学金 (基満) △40 万円
※2018 年 9 月 1 日現在の当社レート適用 NZ\$ 1=80 円 ※レート変動によりプログラム費用が変わります。 お見積作成をご依頼ください。 ※\$=ニュージーランドドル	

プログラム3. (ロング)

渡航先国・都市	カナダ・アルバータ州ゴールデンヒルズ																				
<p>現地受入</p> 	<p>ゴールデンヒルズ教育委員会</p> <p>ゴールデンヒルズ学区は、オリンピックで有名なカナダ第5の都市カルガリーから東へ約45分の位置にあるストラスマア、ドラムヘラー、スリーヒルズを中心とする広大なエリアに位置しています。治安がよく、人々はフレンドリーで、自然豊かです。また、ドラムヘラー地区は北米で最も恐竜の化石が見つまっていることでも有名はエリアです。近年は石油や天然ガスなどの天然資源に恵まれている地域として注目を集めており、カルガリーで働く人々のベッドタウンとしても人気のエリアです。カナダで唯一、公立高校でありながら寮を完備しています（学区内の3校のみ利用可）。ホームステイも選択できるため、希望に合わせて滞在が可能です。</p> <p>【ハイライト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ★日本人生徒の割合がまだ少なく、英語漬けの環境を希望する方におすすめ ★アルバータ州は消費税がなく、BC州などと比べて費用をおさえることが可能 ★最寄空港のあるカルガリーから近く、治安も良くて生活しやすい環境 ★学校の規模が小さく、生徒ひとりひとりへのケアもしっかりしている 																				
就学校	<p>ゴールデンヒルズ学区内の公立高校</p> <p>※高校の希望を出すことはできますが、空き状況等から教育委員会が最終決定します。</p> <p>学区内高校リスト（★は寮滞在可能）</p> <table border="1" data-bbox="448 887 1463 1093"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>生徒数</th> <th>学期制</th> <th>特徴</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Strathmore High School★</td> <td>750人</td> <td>2学期制</td> <td>APプログラム提供</td> </tr> <tr> <td>Drumheller Valley★</td> <td>800人</td> <td>2学期制</td> <td>芸術、スポーツコース有</td> </tr> <tr> <td>Three Hills School</td> <td>490人</td> <td>2学期制</td> <td>音楽、ITなどコース有</td> </tr> <tr> <td>Prairie Christian Academy★</td> <td>350人</td> <td>2学期制</td> <td>海外研修もあり</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	生徒数	学期制	特徴	Strathmore High School★	750人	2学期制	APプログラム提供	Drumheller Valley★	800人	2学期制	芸術、スポーツコース有	Three Hills School	490人	2学期制	音楽、ITなどコース有	Prairie Christian Academy★	350人	2学期制	海外研修もあり
学校名	生徒数	学期制	特徴																		
Strathmore High School★	750人	2学期制	APプログラム提供																		
Drumheller Valley★	800人	2学期制	芸術、スポーツコース有																		
Three Hills School	490人	2学期制	音楽、ITなどコース有																		
Prairie Christian Academy★	350人	2学期制	海外研修もあり																		
プログラム期間	<p>1学期間（約5ヶ月）または1学年間（1学期：9月初旬～1月末・2学期：2月～6月）</p> <p>※1学年間の場合、9月入学のみ</p> <p>※留学生枠が定員になり次第、締め切り。9月入学の出願目安は、3月末です。トビタテ採用後のお申込みの場合、定員の関係で渡航先等の変更が生じる場合があります。</p>																				
プログラム概要	<p>現地の高校生と一緒に学校生活を送ります。英語力に合わせて、ESL や一般科目を受講し、1学期間、1学年間ともに単位取得が可能です。基本的に1学期間は4科目登録・履修、1学年間はそれぞれの学期で4科目登録・履修（計8科目）します。</p> <p>【滞在方法】ホームステイまたは寮</p> <p>【現地サポート】教育委員会がサポート（日本人スタッフ：有）</p>																				
<p>プログラム費用（2019年）</p> <p>※2018年9月1日現在の当社レート適用 C\$1=90円</p> <p>※レート変動によりプログラム費用が変わります。お見積作成をご依頼ください。</p> <p>※\$=カナダドル</p> <p>Prairie Christian Academyの費用は別途お問合せください。</p>	<p>ユースサポート費 1学期間：¥180,000（¥220,000-トビタテ採用者スカラシップ適用） 1学年間¥270,000（¥370,000-トビタテ採用者スカラシップ適用）</p> <table border="1" data-bbox="448 1547 1463 1671"> <thead> <tr> <th></th> <th>ホームステイ滞在</th> <th>寮滞在</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1学期間</td> <td>C\$11,010（約¥990,900）</td> <td>C\$12,025（約¥1,082,000）</td> </tr> <tr> <td>1学年間</td> <td>C\$21,100（約¥1,899,000）</td> <td>C\$12,050（約¥2,075,000）</td> </tr> </tbody> </table> <p>【ユースサポート費&プログラム費用に含まれるもの】</p> <p>現地手続き、渡航手配などの出発前サポート&留学前研修（3回）および出発前オリエンテーション（1回）実施、入学金、授業料、滞在手配、ホームステイ滞在（個室・3食付）または寮滞在費用（相部屋・3食付）、空港送迎（往復）、現地オリエンテーション、現地サポート及び滞在期間中モニター、eTA手続き（1学期間の場合）または学生ビザ申請サポート（1学年間の場合）</p> <p>【含まれないもの/その他必要になるもの】</p> <p>飛行機代（往復）、お小遣い、オプションのアクティビティ・小旅行参加する場合の費用、学生ビザ申請料 C\$150（2018年9月現在/変更になる場合があります）、留学生保険（日本の保険会社によるプラン/オプション）</p>		ホームステイ滞在	寮滞在	1学期間	C\$11,010（約¥990,900）	C\$12,025（約¥1,082,000）	1学年間	C\$21,100（約¥1,899,000）	C\$12,050（約¥2,075,000）											
	ホームステイ滞在	寮滞在																			
1学期間	C\$11,010（約¥990,900）	C\$12,025（約¥1,082,000）																			
1学年間	C\$21,100（約¥1,899,000）	C\$12,050（約¥2,075,000）																			

プログラム4. (ショート)

渡航先国・都市	オーストラリア・パース
オーストラリア・西オーストラリア州の州都であるパースは、明るく、自然に囲まれた、ゆったりと時間の流れる都市です。パース市内はデパート、スーパーマーケット、レストラン、カフェ、日本語医療センター、携帯電話ショップ、銀行など、留学生活に必要なものが揃っており、便利さと治安の良さから留学先としても人気です。この短期プログラムには、海外での生活体験、英語への興味、国際交流について考えるきっかけをもつ、長期留学を検討するにあたっての準備など、皆さん様々な理由で参加されますが、理由はどうであれ、参加後、必ず何か得るものがあることでしょう。実際、短期留学後、英語により興味をもって勉強に積極的に取り組むようになったり、異文化体験を通して日本文化への理解をより高めたり、色々な価値観があることを学んで幅広い見解ができるようになったりと、未来の国際人としてのステップを踏んでいった方がたくさんいます。	
プログラム日程 (2019)	2月11日～4月14日 5月6日～7月1日 7月22日～9月16日 10月14日～11月25日
参加期間	上記日程の中で1週間～4週間 2週間参加の例：2018年8月19日(日)パース着 - 9月2日(日)パース発
参加対象	13歳～18歳(中学1年生～高校3年生)
参加条件	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 心身共に健康で、異文化交流に積極的な姿勢を持つ方 ➢ ホストファミリーの家庭のルールや習慣に順応できる方 ➢ 英検準2級または同等以上の英語力がある方 ➢ 海外留学生保険に加入すること
プログラム概要	<p>ホームステイをしながら現地校に通い、通常授業に参加します。事前の英語対策レッスンはなく、渡航後すぐに現地校に通います。基本的には現地校に通っている生徒がいるホストファミリー宅に滞在して、ホスト宅の子供と一緒に登下校します。学校では、バディーがお世話役として学校生活になじめるよう一緒に授業に参加したり、ランチを食べたりします。学校外のホストの場合も通いやすく環境のよいホームステイをご案内しています。パース空港到着時の出迎え、オリエンテーション、ホストファミリー宅へのご案内、滞在中のサポート(現地校へ初日同行)、日本語での24時間緊急電話ヘルプ、最終日の空港までの見送りが含まれていますので、一人でも安心して参加していただくことができます。</p> <p>※学生ビザ取得の必要はなく、観光(ETAS)で参加できます。</p>
研修先について	<p>パース近郊の現地公立または私立校 バディーと一緒に通常授業(一般科目、体育、芸術などに参加、また日本語クラスにも参加します。受入枠があるため、お申込後に入学する学校が決定されます。</p> <p>パースの学校について 西オーストラリア州では、中・高を合わせて「ハイスクール」とし、公立校では8年生から12年生が同じ校舎で学んでいます。日本のように同じ教室に異なる教科の先生が来てくれるのではなく、各教科で教室が決められていて、生徒が時限毎に教室間を移動します。担任教師はForm Teacherと呼ばれ、毎朝10分位のホームルーム時間に生徒の出欠をとります。制服は私立も公立も指定のものがあります。短期の留学生も制服を着ることが求められますので、<u>日本からの制服を着用してください。</u> 学校ではRecessと呼ばれる午前中の休憩時間があり、午後の昼食時間は30～45分ほどです。Recessの時間にスナック菓子、ビスケット、果物、飲み物など飲食します。授業中以外は教室には入れませんので、ランチなどは、キャンパス内の庭で食べます。 放課後のクラブ活動などは学校では特になく(一部私立を除く)、各自がコミュニティーのクラブなどに所属し、スポーツ活動を行っています。</p>
滞在方法	<p>ホームステイ (ホストファミリー提供による1日3食(昼食はお弁当)付)</p> <p>ホームステイは、現地での生活を体験するのにもっとも適した滞在スタイルです。実際にオーストラリアの家庭の様子を体験することで、普通の観光では得られないオーストラリアの姿を垣間見ることができる他、勉強した英語を実際に使ってみるよい機会となるでしょう。ホストファミリーは、海外の学生がオーストラリアの文化や習慣、言葉を学ぶというホームステイの主旨に賛同して学生に宿泊と勉強の場を提供しています。家族の一員として積極的に家庭生活に参加しましょう。</p>



参加者からのメッセージ！！

日本とは全く異なる授業体系でとても新鮮でした。
オーストラリアの人達は人種差別をしません。たくさんの異なる人種の人達が仲良くしている素晴らしい国です。英語漬けの日々で心細いかもかもしれませんが、学べること、体験できること、楽しいことがたくさんあります。

お申込期日	春休み期間に参加する場合：2月1日 夏休み期間に参加する場合：6月1日 その他の時期は、開始日の6週間前までのお申し込みが必要です。			
プログラム費用 (2019年)	ユースサポート費：1-2週間 ¥20,000円 / 3-4週間 ¥32,000			
	1週間	2週間	3週間	4週間
	\$2,900	\$3,800	\$4,700	\$5,550
	【費用（ユースサポート費、プログラム費用）に含まれるもの】 ・現地手続き（現地校入学手続き、ホームステイ手配） ・出発前サポート（飛行機手配サポート、海外旅行保険加入案内、現地情報提供、出発前オリエンテーション実施）、現地到着時オリエンテーション実施、空港送迎（往復）、現地校授業料、学校初日サポート（同行）、現地情報・学校情報などを含むハンドブック提供、現地滞在中のコミュニケーションサポート（学校、ホストファミリー）、24時間緊急電話サポート 【その他必要になるもの】 ETAS 手配料（手数料・申請料含む） ¥3,000 飛行機代（往復）、海外旅行保険料、現地交通費、お小遣いなど個人的なもの 深夜到着の送迎割増（午後10時～翌早朝4時までの到着便） \$220 早朝到着の送迎割増（午前4時～6時までの到着便） \$80 含まれるもの以外で同行依頼がある場合の同行費 \$110/時間			
\$=オーストラリアドル 当法人レート適用で日本円換算の上、ご請求させていただきます。				

プログラム5. (ロング)

アメリカ高校交換留学プログラム ※授業料相当額の免除のプログラムのため、「奨学金額の減額」に該当します。	
次の時代を担う世界各国の青少年にアメリカの一般的な家庭、学校、社会生活を体験してもらい、異なる文化、習慣に触れ、高校生としての日々の営みの中から、国際人として必要な理解力・判断力・適応力・協調性を身につけてもらうことにより、より現実的な相互理解を促すことを趣旨としたプログラム。このアメリカ交換留学プログラムは、第2次世界大戦後の1948年、アメリカ合衆国政府により Criteria for Teenager Exchange Visitor Program が定められ、その後1982年にレーガン大統領が改めて「国際青少年交流計画」を推進したことにより飛躍的に拡大したとされています。※当該プログラムは、IYEO 札幌デスクとしてご案内	
渡航先国・都市	アメリカ・全州（ハワイ・アラスカ州除く）
受入奨学財団	ERDT (Education Resource Development Trust) 非営利教育機関である ERDT は、1974年に元 UCLA 国際関係学教授である Dr. Roger Risk によって設立されました。それ以来、ERDT は、30カ国を超える国々から交換留学生を受け入れ、毎年、世界中から700人以上の学生が交換留学プログラムに参加、アメリカの公立高校に通いながらホームステイをしています。
就学校	米国受入奨学財団が指定するアメリカの公立高校（授業料免除）※州等の希望は不可
滞在方法	米国受入奨学財団が手配・選定するボランティアのホストファミリー宅に滞在
プログラム期間	1学年間（2019年9月～2020年5月中旬/6月中旬）※プログラム期間の短縮、延長は不可。
募集期間&応募資格 ※専用パンフレットをご覧ください。	2018年8月1日～2019年3月15日 ※米国受入奨学財団の定める募集定員に達した場合、その時点で募集終了となります。 ※プログラム参加のための条件、選考試験があり、合格した方が次のステップに進みます。 ※トビタテ！留学 JAPAN - 高校生コースの採用・不採用の結果が出てからのお申込みは間に合いませんので、トビタテ奨学金に関わらず参加を希望する方を対象とさせていただきます。
プログラム費用	申込金・出願手続き/サポート料 ¥450,000 米国受入奨学財団出願料 US\$700 米国受入奨学財団プログラム費用 US\$7,800

※申込条件書・返金規定は、別紙でお渡ししています。

トビタテ留学 JAPAN に公認プログラムはありません。留学計画書に記載されている内容を基にそれぞれの目標や留学の意欲などを中心に審査が行われます。IEN のプラン・プログラムに申込み、申請することで必ず審査に合格するというものではありません。